

ケアネットってどんなことなの?  
ケアネット活動 Q&A

Q 誰が支援するのですか?

A 近隣地域の皆さんが支援します。(町内会役員、民生委員児童委員、近隣住人、友人、知人、ボランティア等で協力する方)

Q なぜ、支援する必要があるのですか?

A 毎日の声かけや、定期的な訪問による話し相手などをしながら、安否確認や健康上の変化、困りごとなど、必要に応じて支援することによって、事故を未然に防ぐことや、緊急事態を素早く発見、対応することができるためです。

Q 支援を拒否する人にはどうやって活動をすすめていけばいいのでしょうか?

A 対象者の方の中には、「人の世話になりたくない」「干渉しないでほしい」という人が多いものです。しかし、特にひとり暮らし高齢者などは、緊急ニーズに対応できるよう、ケアネット活動で見守っていくことが必要な場合があります。ケアネット活動コーディネーターとよく相談し、急な関わりは避け、時間をかけて根気よく訪問し、活動への理解を得たいものです。なぜ、訪問を拒否するのかよく考えて、関わる方の態度にも問題がないかチェックしましょう。ホームヘルパーや保健師などの専門職の参加を得ることもひとつの方法です。

Q どんな方法で支援するのですか?

A まずは、声かけ・話し相手(電話でもOK)、新聞、郵便物がたまっていないか、夜間になって電気がついているかなどといった見守りや、ごみ出しのお手伝い、買い物のお手伝い、外出のお手伝いなどです。また、要支援者に「監視されている」という意識をもたれないようにさりげなく見守り、「お世話されている」という意識をもたれないように自然な形で支援することを心がけることも大切です。

Q プライバシーを守るためにはどうすればよいのでしょうか?

A 知り得た情報は、必要な場合にのみ活用し、ほかにはもらしてはいけません。また、記録された個人の情報も他人の目に触れないようにすることが必要です。そして、ルールを皆で話し合い、文書化し、まわりに理解してもらう努力も必要です。また、ケアネット活動の対象となることについては要支援者に了承を得ることが必要です。

Q なぜ、地域住民が主体となった活動なのですか?

A 要支援者の状況や変化に気付くのは、近隣の方が一番です。状態の変化や地域では解決できない困難ケースは、民生委員児童委員等を通じ、市町村社会福祉協議会のケアネット活動コーディネーターにつないでいただき、要支援者に適切な専門職(ケアマネジャー、ホームヘルパー、障がい者相談員、訪問看護師、かかりつけ医、医療ソーシャルワーカー、子育て相談員、保育士)が関わって支援することにつながります。近隣の方々が要支援者の変化や課題を早期に発見し、民生委員児童委員を通じ、市町村社協、専門機関との連携も加えて、要支援者を支えていくシステムです。

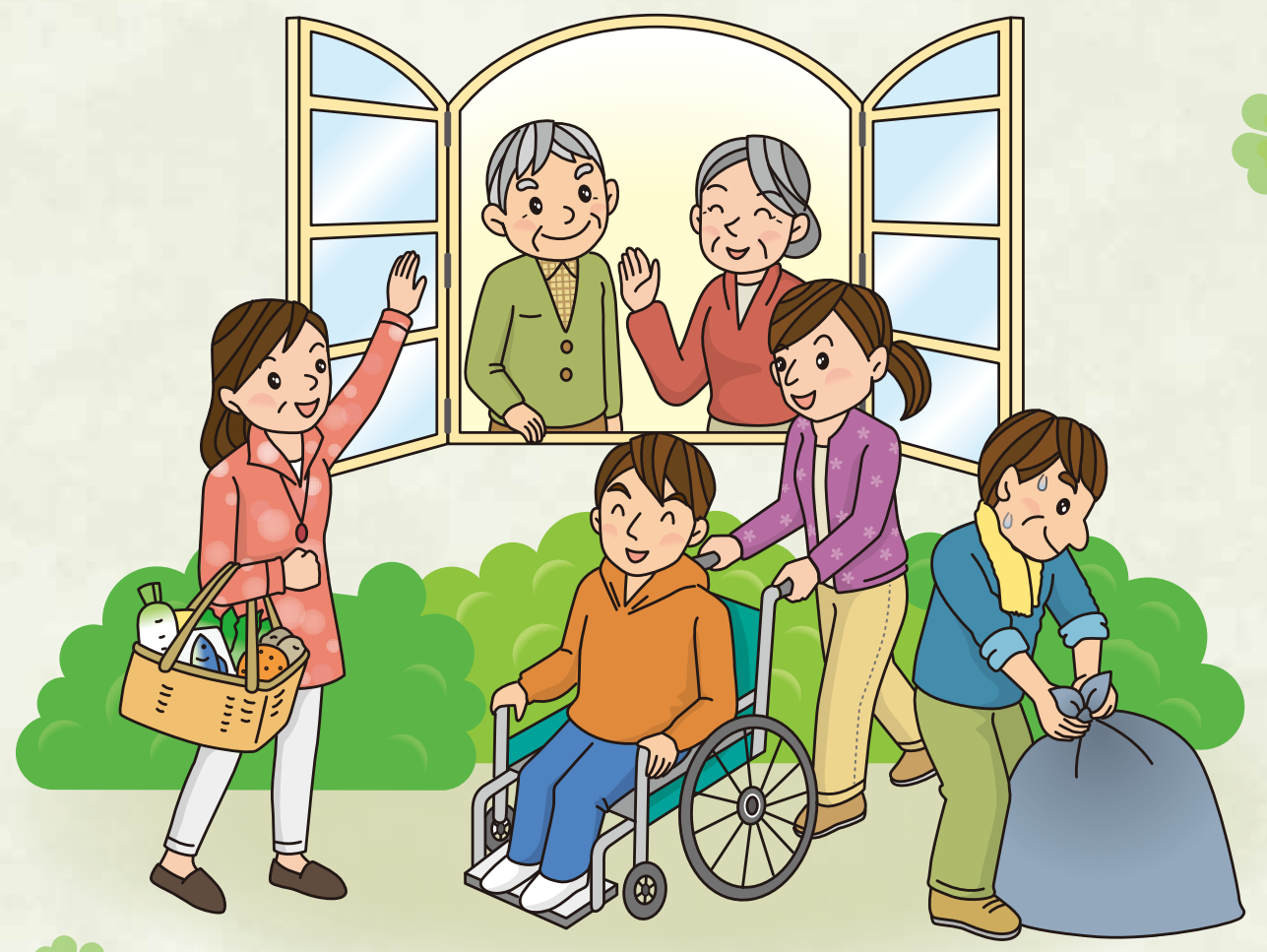
実施市町村社会福祉協議会

市町村社協名	事務局所在地		電話番号
富山市社会福祉協議会	富山市今泉 83-1	富山市総合社会福祉センター内	076-422-3400
高岡市社会福祉協議会	高岡市清水町 1-7-30	高岡市社会福祉協議会館内	0766-23-2917
魚津市社会福祉協議会	魚津市新金屋 2-13-26	魚津市福祉センター「百楽荘」2F	0765-22-8388
氷見市社会福祉協議会	氷見市中央町 12-21	氷見市いきいき元気館内	0766-74-1800
滑川市社会福祉協議会	滑川市吾妻町 426	滑川市民交流プラザ内2F	076-475-7000
黒部市社会福祉協議会	黒部市金屋 464-1	黒部市福祉センター内	0765-54-1082
砺波市社会福祉協議会	砺波市幸町 8-17	砺波市社会福祉会館内	0763-32-0294
小矢部市社会福祉協議会	小矢部市鷺島 15	小矢部市総合保健福祉センター内	0766-67-8611
南砺市社会福祉協議会	南砺市蛇喰 1009	南砺市井口社会福祉センター北隣	0763-64-2940
射水市社会福祉協議会	射水市小島 700-1	射水市大島社会福祉センター2F	0766-52-5190
舟橋村社会福祉協議会	舟橋村仏生寺 55	舟橋村役場内	076-464-1847
上市町社会福祉協議会	上市町湯上野 8	上市町保健福祉総合センター「つるぎふれあい館」内	076-473-9300
立山町社会福祉協議会	立山町前沢 1169	立山町元気交流ステーション「みらいふ」内	076-463-3356
入善町社会福祉協議会	入善町上野 2793-1	入善町健康交流プラザ「サンウェル」内	0765-72-5686
朝日町社会福祉協議会	朝日町荒川 358	あさひ福祉センター内	0765-83-0576
富山県社会福祉協議会	富山市安住町 5-21	富山県総合福祉会館(サンシップとやま)内	076-432-2960

住みなれた地域で、安心して暮らせる福祉のまちをめざして

地域総合福祉推進事業(ふれあいコミュニティ・ケアネット21)

# 広がれ ケアネット活動



地域総合福祉推進事業  
(ふれあいコミュニティ・ケアネット21 通称「ケアネット活動」とは

地域には、健康や生活に不安のある方、介護・子育てに悩んでいる方、孤独を感じている方、孤立している方など様々な福祉課題を持って生活している世帯があります。ケアネット活動は、小地域(おおむね小学校区)を単位として、そのような世帯に対し地域の人ができる見守りや話し相手などの支援活動を通して、地域住民の相互の支え合いをつくとともに、医療、保健、福祉など生活を支援する関係者ともネットワークをはることで、だれもが安心して生活できる地域づくりを進めようとする活動です。



### 活動目的

ケアネット活動の大きな目的とは、

軽い認知症のひとり暮らしの高齢者

昼間、ひとりで家にいる高齢者

閉じこもりがちな人がいる世帯

子育てに不安をもっている世帯

心身に障がいを持つ方や支える家族の方

今は大丈夫だけど、将来が心配な方や世帯

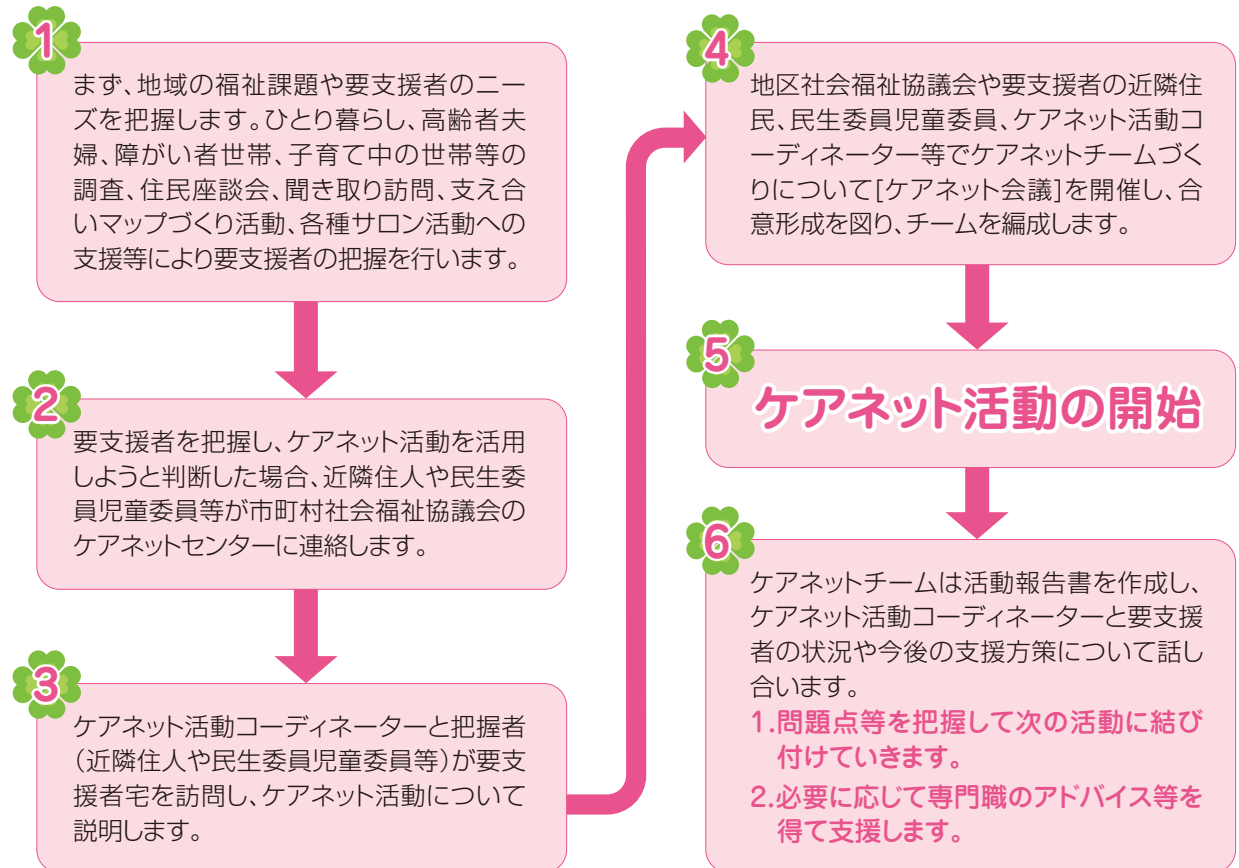
など、要支援者・世帯とともに、地域住民、専門職（機関）が一緒になって課題解決を図ることです。また、地域のニーズを把握し、その解決に取り組む活動を通じて住民主体による福祉コミュニティづくりを推進することです。

### ケアネットチーム

- 地域住民でチーム（3～5名程度）をつくり、要支援者の生活上のニーズを把握し、その人が、その人らしい生活を送れるよう日常生活を支援します。
- 困難な事例に関しては、ケアネット活動コーディネーターが専門職（機関）との調整にあたり、ケアネットチームと専門職（機関）が連携し支援を行います。
- 活動内容は、声掛け、話し相手、見守りをはじめ住民ができる簡単な援助など要支援者の状況により様々です。

### ケアネット活動コーディネーター

- 市町村社会福祉協議会のケアネットセンターに配置され、住民座談会の開催やふれあいいきいきサロンへの支援を通し、地域の生活上のニーズにどう対応するかを住民と共に考え（ケアネット会議）、ケアネットチームを編成し支援します。
- 要支援者の状況や変化を把握し、ケアネットチームが活動を行うためのサービスプログラムをつくりまます。
- 専門職（機関）とのネットワークにより、地域のニーズ把握や活動に必要な連絡調整を行います。



## ケアネットチームの構成例

実際のチームは要支援者の課題に応じて構成（3～5名程度）されます。

